

## 令和 7 年度 北河内薬事懇話会 議事概要

日時：令和 7 年 11 月 7 日（金）午後 2 時～ 4 時

場所：寝屋川市保健所 2 階講堂

## 1 開会

## 2 議題

## (1) 認定薬局について

## ア 認定薬局について[資料 1]

大阪府薬務課より説明。

認定薬局制度について、北河内圏域における現状及び地域連携薬局向けに行ったアンケート調査結果について説明があった。目標認定件数へ向けた課題を共有し、今後の方針を示した。

## イ 認定薬局について[資料 2]

大阪府薬剤師会より説明。

- (ア) 認定かかりつけ薬局制度の変遷
- (イ) 現状の課題
- (ウ) 法改正に伴う新たな認定制度等について

## ウ 各地域薬剤師会（認定薬局の取得状況、課題等）[資料 3]

各地域薬剤師会より説明。

無菌製剤処理ができる体制の整備が課題である等の説明があった。

〈主な質問・意見等〉

## (ア) 認定薬局の認定取得について

- 診療報酬がつかず、手続が煩雑といった問題があり、制度自体の見直しも必要。

## (イ) 無菌調剤室について

- 自局で無菌調剤室を有する薬局はかなり数が少ない。
- 設備導入のための補助金支給、病院との共同利用を可能にするといった法改正が進めば対応できる薬局が増えるかもしれない。在宅医療に無菌製剤の使用が浸透するにはまだ時間がかかる。

## (2) 災害時薬事体制に関する取組状況等について

ア 災害時の医薬品等確保体制について[資料4]

枚方市健康福祉政策課より説明。

枚方市の災害時の医薬品等確保体制について説明があった。

〈特記事項〉

(ア) 医薬品等の備蓄品目の見直しが求められている。

(イ) ローリングストック可能な医薬品の見直しが必要。

イ 各地域薬剤師会（災害対策の取組み状況）[資料5]

各地域薬剤師会より説明。

昨年度の薬事懇話会以降の取組、課題について説明があった。

〈主な質問・意見等〉

(ア) どのように備蓄医薬品の品目を決定したのか。

- 各薬局の所有医薬品をリストアップし、医師会、保健所の意見も鑑み決定した。

(イ) 発災時、各薬剤師会の災害対策本部はどのように決めているのか。

- 薬剤師会の事務所等システムが扱える場所へ参集する。

(ウ) 地域医薬品提供体制の構築について

- 全薬局の備蓄医薬品や対応時間等をリスト化し、ホームページに載せ、他職種が利用できるように整備する必要がある。
- 供給不安定時にも薬局同士で連携できるよう、迅速に対応していかなければならない。

ウ 地域災害薬事コーディネーター研修について[資料6][資料7]

大阪府薬務課、大阪府薬剤師会より説明。

今後実施予定の地域災害薬事コーディネーターの養成研修等について説明。

(3) その他

各地域薬剤師会の取組み[資料8]資料配布

3 閉会